

(様式)

## 令和8年度 男子バスケットボール部の指導方針等について

令和8年4月6日

### 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
部活動や学校行事が活発な学校を目指していくことを方針とする本校において、スポーツ推薦実施部活動として自覚を持ち、勉強との両立を図りながら高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都ベスト32以上を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標  
中学生交流を積極的に行い、地元中学校のバスケットボールの発展に寄与する。

### 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とて行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に2~3回程度、競技力を高めるため練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップをとりスポーツ推薦実施部活動として自覚を持ち、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立はじめ、高校生活のすべての場面において楽しみながらも緊張感を持ち取り組むように指導する。

### 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
社会通念を常に意識し、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
今年度は、適任者がいないので該当者なし。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	新入生歓迎会・ひっぱり会 一斉部会 新入生歓迎会 関東大会都予選	施設・設備・道具等 安全点検① 報告・連絡・相談意 識涵養①
	5	総体都予選	新入生の状況把握 施設・設備・道具等 の安全点検②
	6		
	7	夏季強化合宿（長野県木島平村 レイジ ヤント体育館 4泊5日）	報告・連絡・相談意 識涵養②
8	夏季江戸川区大会（開催予定）	熱中症対策・体調管 理の徹底  施設・設備・道具等 の安全点検③	
2	9		施設・設備・道具等 の安全点検④
	10	新人戦支部大会	報告・連絡・相談意 識涵養③
	11	新人戦支部大会	
3	12		
	1	（新人戦本大会）	施設・設備・道具等 の安全点検④
	2		報告・連絡・相談意 識涵養③
	3	三送会 四校リーグ戦	

## 1 年間目標

### (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

### (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

都大会ベスト16を当面の目標とし、恒常的に都大会ベスト32に入れるよう日々の練習に取り組む。

### (3) 特色ある目標

日々の練習や大会を通して、自ら考え行動することで「主体性」を伸ばす。また、中学生の部活動体験や合同練習などを積極的に受け入れる。

## 2 指導方針

### (1) 部活動の質と量の工夫

練習は原則週5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3～4時間を基本とし、モチベーションを高くもち量より質を重視し、短時間に集中して行う。

### (2) 練習や試合等の計画

月に1～2回程度、競技力を高めるため都内、都外問わず強豪チームと練習試合を行う。

### (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるよう指導する。

### (4) 生徒相互の人間関係

チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

### (5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

### (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

### (3) 外部指導員の活用

該当なし。

### (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 関東大会東京都予選 部員登録・部活動ミーティング①	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	5	インターハイ東京都予選兼国体少年女子東京都予選	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	新チーム結成 部活動ミーティング② 夏季合宿健康診断 (予定)	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季合宿 (予定) 練習試合	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	練習試合 東京都夏季大会	
2	9	部活動ミーティング② (日常活動、2学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	JBA U18 リーグ大会	
	11	関東新人大会東京都予選	施設・設備・道具等の安全点検⑤ (施設・設備 造改修要望)
	12	冬季休業中 練習及び練習試合	
3	1	部活動ミーティング③ (日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検⑥ 報告・連絡・相談意識涵養④
	2	A 支部大会	
	3	四校リーグ	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
本校の教育目標である「人間力向上」「体力向上」のため、日々の練習に高い目的意識を持って取り組み、チームとして目標を達成すべく連帯感を高めて練習に励む。
- (2) 競技大会の具体的到達目標  
都大会ベスト64を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 中学校との積極的な連携  
中学校との連携（合同練習会）や部活動体験等を積極的に受け入れる。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質・量の工夫、積極的に練習試合を行う。  
練習は、原則週に6日間とし、週末には競技力を高めるため練習試合を行う。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでチームに貢献する力を指導する。
- (3) チームワークの向上  
チームとして行動していく中で、目標を共有し、責任感や連帯感を高めていく。
- (4) 学習と部活動の両立  
家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとり、勉強と部活動を両立させる。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 関東大会東京都予選	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	5	部活動保護者会 春季江戸川区民大会 インターハイ東京都予選	施設・設備・道具等の安全点検②
	6	新チーム結成 部活動ミーティング②	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季合宿健康診断 夏季合宿(長野県木島平村 村民体育館 3泊4日) 強化練習試合	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	江戸川近隣大会 全日本高校選手権大会予選 中学生部活動体験	
2	9	部活動ミーティング③(日常活動、2学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	秋季江戸川区民大会 次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検⑤ (施設・設備 造改修要望)
	11	新人選手権大会	施設・設備・道具等の安全点検⑥
	12	冬季休業中 練習及び練習試合	
3	1	部活動ミーティング④(日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	都立校大会	
	3	部活動ミーティング④ (年間の活動の振り返りと次年度への反映)	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
高体連主催の東京都予選会ベスト16
- (3) 特色ある目標  
日々の練習や大会出場等を通して、「考える力」「主体性」「チームプレーの精神」の向上に励む。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日3時間、休日4時間を基本として行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1～2回程度、競技力を高めるため練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるよう指導する。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立をはじめとして、高校生活のすべての場面において緊張感を持ち、全力を尽くすように指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	新入生歓迎会・ひっぱり会 一斉部会 新入生歓迎会 関東大会都予選	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握
	5	保護者会（指導法針等を説明） 江戸川区民大会	施設・設備・道具等の安全点検②
	6	総体都予選	
	7	夏季強化合宿（長野県木島平村 レイジャント体育館 3泊4日）	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	8	都立高大会	施設・設備・道具等の安全点検③
2	9	全日本選手権都予選	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	江戸川区民大会	
	11	新人大会都予選	
3	12		
	1	都立高大会	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2		
	3	三送会	

## 1 年間目標

## (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

## (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

関東大会団体ベスト8、関東選抜大会個人出場、全国高校選抜、インターハイ団体出場

## (3) 特色ある目標

通年を通じて高体連活動に協力、公開講座への協力、中学生の体験部活動および中学校との合同練習会の通年にわたる受け入れ、東京バドミントン協会ジュニア強化練習会の協力

## 2 指導方針

## (1) 部活動の質と量の工夫

練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。

## (2) 練習や試合等の計画

月に2～3回程度、競技力を高めるため地域の大会参加および他県との練習試合を行う。

## (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるよう指導する。

## (4) 生徒相互の人間関係

チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

## (5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

## (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

## (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

## (3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

## (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的を実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 関東大会東京都予選	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	インターハイ東京都個人予選 部活動保護者会①（指導方針等を説明）	新入生の状況把握 （経験・能力・体調面での配慮事項など）
	6	関東大会 インターハイ東京都団体予選	施設・設備・道具等の安全点検②
	7	新チーム結成 部活動ミーティング② 夏季合宿健康診断	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	8	夏季合宿（長野県木島平村 体育館 3泊4日） 練習試合 全日本ジュニア予選 全国高校選抜予選兼新人戦個人複予選	施設・設備・道具等の安全点検③
2	9	部活動ミーティング②（日常活動、2学期予定確認） 中学生部活動体験入部	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	全国高校選抜予選兼新人戦個人単予選	施設・設備・道具等の安全点検⑤
	11	全国高校選抜予選兼新人戦団体戦東京都予選 地区新人大会 次年度予算請求	（施設・設備 造改修要望）
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 関東公立大会 基礎体力強化練習	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	冬季ブロック大会団体 北関東オープン大会	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	部活動ミーティング③（日常活動、3学期予定確認） 国公立大会団体	
	3	新人戦個人単・複2部大会 部活動ミーティング④・保護者会②（年間の活動の振り返りと次年度への反映）	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
国公立大会優勝、東京都新人戦・関東大会予選ベスト4、関東大会出場
- (3) 特色ある目標  
通年を通じて高体連活動に協力（会場校）、日本リーグ補助員協力  
中学生大会（潮風カップ）の主催・運営、小学生大会の運営と合同練習会の受け入れ

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間半、休日3時間半を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に2～3回程度、競技力を高めるため地域の大会参加および他県との練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるよう指導する。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理

等) を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学 期	月	内 容	事故防止・安全配 慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 関東大会東京都予選	施設・設備・道具等 安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養
	5	関東大会東京都予選	① 新入生の状況把握
	6	関東大会本線 インターハイ東京都予選	(経験・能力・体調 面での配慮事項な ど)
	7	新チーム結成 部活動ミーティング② 夏季合宿健康診断	施設・設備・道具等 の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養
	8	夏季合宿(長野県木島平村 グランド4泊5日) 練習・練習試合・ランニング  技術講習会参加 国公立大会、予選会・決勝大会運営・出場	② 熱中症対策・体調 管理の徹底  施設・設備・道具等 の安全点検③
2	9	部活動ミーティング②(日常活動、2学期予定確 認) 秋季墨東大会運営・出場	施設・設備・道具等 の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養
	1		③
	0	中学生部活動体験入部 全国高校選抜予選兼新人戦東京都予選	施設・設備・道具等 の安全点検⑤
	1	日本リーグ補助役員ボランティア 次年度予算請求	(施設・設備 造 改修要望)
	1 2	江戸川区オープン大会運営・出場 冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習	施設・設備・道具等 の安全点検⑥

3	1	冬季練習 部活動ミーティング③（日常活動、3学期予定確認）	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	冬季研修大会 東京都東西選抜大会・練習会	
	3	春季墨東大会 部活動ミーティング④（年間の活動の振り返りと次年度への反映）	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

# 【ダンス部】

令和8年度 ダンス部 年間指導計画

令和8年4月6日

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 文化祭、クリスマスライブ等の舞台発表を適切に運営、実施をする。  
コンテスト・地域イベントへの積極的な参加等を目標に日々の練習に取り組む。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、発表会前2～3ヵ月は、週に5日間練習する。練習時間は、平日2～3時間、休日4時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
発表会本番前には音響・照明・舞台発表に関するリハーサルを2～3回行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
昨年度より、大会に向けて目標達成、部員の技術向上のため部活動指導員を導入。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング (指導方針等を説明) 新入生歓迎ライブ	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	5	通常練習 ダンススタジアム大会準備 チーム結成 部活動ミーティング	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	文化祭準備 (企画書等の提出)	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	文化祭ステージ発表に向けて準備	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	ダンススタジアム出場 文化祭ステージ発表に向けて準備 (音響・照明・舞台等リハーサル)	
2	9	地域イベント参加 (ステージ発表) 部活動ミーティング (日常活動、2学期予定確認) 3年生引退&引継ぎ	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	中学生部活動体験入部	施設・設備・道具等の安全点検⑤
	11	次年度予算請求  校内発表会&保護者会の実施 (クリスマスライブ)	(施設・設備 造改修要望)
	12	冬季休業中 練習 基礎体力強化練習	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	部活動ミーティング (日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	年間の活動の振り返りと次年度への反映 外部大会への参加	
	3		施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
本校の方針である「人間力向上」「体力向上」のため、日々の活動において高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会の具体的到達目標  
都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 大会運営  
本校が大会会場になるため、補助役員として大会運営を通して仕事を遂行する力や責任感を養う。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、時間は、平日2時間、休日3時間を基本とする。短い時間の中で質の高い練習を行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に3～4回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、身だしなみやマナーなど、人として大切なことを身に付ける。自ら考えて判断し、行動できる力を養う。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立できるよう指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、生徒で体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング①	施設・設備・道具等安全点検①
	5	全国高校総合体育大会東京都大会支部予選 全国高校総合体育大会東京都大会1次トーナメント	報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	夏季合宿健康診断・保護者説明会 全国高校総合体育大会東京都大会2次トーナメント	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	7	夏季合宿(長野県木島平村 3泊4日) 練習試合	熱中症対策・体調管理の徹底
8	全国高校サッカー選手権大会東京都1次予選 新チーム結成 部活動ミーティング②	施設・設備・道具等の安全点検③	
2	9	部活動ミーティング③(日常活動、2学期予定確認) 全国高校サッカー選手権大会東京都2次予選	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	中学生部活動体験入部	施設・設備・道具等の安全点検⑤
	11	地区新人大会 次年度予算請求	(施設・設備 造改修要望)
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	部活動ミーティング④(日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検⑦
	2		報告・連絡・相談意識涵養③
	3	部活動ミーティング⑤(年間の活動の振り返りと次年度への反映)	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
各自が設定した目標の達成、支部大会・都大会上位入賞、関東大会出場等に向けて日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、区民大会等にも積極的に参加する。また大会の補助役員として生徒が積極的に活動する。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日3時間、休日4時間を基本とする。モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
4月のインターハイ予選、9月の新人大会を年間目標とし、それらの大会で結果を出すために、区民大会や記録会への参加、他校との合同練習を月1～2回の頻度で実施する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。またスケジュールやコンディション管理が自らできるよう指導していく。
- (4) 生徒相互の人間関係  
集団行動をしていく中で、協調性や責任感を育成する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	第2支部春季競技会 強化競技会 生徒会部活動紹介 新入生歓迎会 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会第2支部予選会	施設・設備・道具等の安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	5	東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 江戸川区民体育祭春季陸上競技大会	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	第2支部学年別大会、東京都高等学校陸上競技大会一年生大会予選会	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季合宿健康診断 東京都高等学校選抜陸上競技大会 東京都高等学校陸上競技大会一年生大会	施設・設備・道具等の安全点検③
2	8	夏季合宿参加(木島平) 第2支部夏季競技会	
	9	東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会第2支部予選会 東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会 江戸川区民体育祭秋季陸上競技大会	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	第2支部秋季競技会 東京都高校駅伝 強化競技会	施設・設備・道具等の安全点検⑤ (施設・設備 造改修要望)
	11	次年度予算請求 強化講習会	
	12	冬季休業中 練習 冬季練習(基礎体力強化)(~3月上旬)	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	第2支部長距離競技会 江戸川区民駅伝大会	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	強化講習会	
	3	三年生送別会 強化競技会 春季休業中 練習(新シーズンに向けて)	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」等、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
全国高等学校野球選手権大会出場、春秋都大会ベスト8進出
- (3) 特色ある目標  
東京都高等学校野球連盟の大会補助員、年に1度の東京都高等学校野球連盟主催Tボール教室(野球競技の地域への普及活動)実施、校内・校外の清掃活動

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
全体練習は原則週あたり5日とし、一人あたりの練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
週に1～2回、競技力を高めるために練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識(環境整備・体調管理等)を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	春季東京大会本大会 生徒会部活動紹介 部活動ミーティング①	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握
	5	部活動保護者会①（指導方針等を説明） 外部指導員との打ち合わせ①	（経験・能力・体調面での配慮事項など） 施設・設備・道具等の安全点検②
	6	部活動ミーティング② 夏季合宿健康診断・保護者説明会 外部指導員との打ち合わせ②	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	7	全国高等学校野球選手権大会東東京大会 新チーム結成 夏季合宿（福島県福島市 3泊4日）	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	中学生部活動体験①	
2	9	秋季東京大会ブロック予選 部活動ミーティング②（日常活動、2学期予定確認） 外部指導員との打ち合わせ②	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	秋季東京大会本大会	施設・設備・道具等の安全点検⑤
	11	次年度予算請求 中学生部活動体験②	（施設・設備 造改修要望）
	12	T ボール教室実施 基礎体力強化練習	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	部活動ミーティング③（日常活動、3学期予定確認） 外部指導員との打ち合わせ③	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	部活動ミーティング④・保護者会②（年間の活動の振り返りと次年度への反映）	施設・設備・道具等の安全点検⑧
	3	春季東京大会ブロック予選	報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都大会4回戦出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、区民大会等にも積極的に出場する。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員の役割や基本的な考え方を両者が話し合い、共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 東京都高等学校テニス選手権大会 個人戦	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	東京都高等学校テニス選手権大会 団体戦 部活動指導員との打ち合わせ① 新チーム結成 部活動ミーティング② 春季江戸川区民大会 部内戦①	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)  施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	夏季合宿健康診断・保護者説明会 部活動指導員との打ち合わせ② 都立対抗テニス大会 団体戦	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季合宿(長野県木島平村 村民体育館 4泊5日) 部内戦②	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	練習試合	
	9	部活動ミーティング③(日常活動、2学期予定確認) 部活動指導員との打ち合わせ③ 中学生部活動体験入部① 東京都新人テニス選手権 個人戦	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	秋季江戸川区民大会 次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検⑤  (施設・設備 造改修要望)
	11	中学生部活動体験② 部内戦③	施設・設備・道具等の安全点検⑥
2	12	補正予算請求 冬季休業中 練習及び練習試合	
	1	都立対抗テニス大会 個人戦 部活動ミーティング③(日常活動、3学期予定確認) 部活動指導員との打ち合わせ④	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	六学区都立高等学校テニス大会	施設・設備・道具等の安全点検⑧
3	部活動ミーティング④・(年間の活動の振り返りと次年度への反映)	報告・連絡・相談意識確認	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都大会4回戦出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
地域交流を積極的に図るため、区民大会等にも積極的に出場する。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員の役割や基本的な考え方を両者が話し合い、共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

s 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 東京都高等学校テニス選手権大会 個人戦	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	東京都高等学校テニス選手権大会 団体戦 部活動指導員との打ち合わせ① 新チーム結成 部活動ミーティング② 春季江戸川区民大会 部内戦①	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)  施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	夏季合宿健康診断・保護者説明会 部活動指導員との打ち合わせ② 都立対抗テニス大会 団体戦	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季合宿(長野県木島平村 村民体育館 4泊5日) 部内戦②	施設・設備・道具等の安全点検③
	8	練習試合	
	9	部活動ミーティング③(日常活動、2学期予定確認) 部活動指導員との打ち合わせ③ 中学生部活動体験入部① 東京都新人テニス選手権 個人戦	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	秋季江戸川区民大会 次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検⑤  (施設・設備 造改修要望)
	11	中学生部活動体験② 部内戦③	施設・設備・道具等の安全点検⑥
2	12	補正予算請求 冬季休業中 練習及び練習試合	
	1	都立対抗テニス大会 個人戦 部活動ミーティング③(日常活動、3学期予定確認) 部活動指導員との打ち合わせ④	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	六学区都立高等学校テニス大会	施設・設備・道具等の安全点検⑧
3	部活動ミーティング④(年間の活動の振り返りと次年度への反映)	報告・連絡・相談意識確認	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「知力」「人間力」「体力」を高める本校の教育目標を踏まえて、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会等の具体的到達目標  
都大会、個人戦上位64本、団体戦上位16チームを目指して、日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
地域の交流を図るため、区民大会等にも出場する。近隣中学校への普及活動。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週4日間とする。練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とする。モチベーションを高く持ち、集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
高体連の公式戦への参加。月1回程度は、練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
時間厳守。挨拶、礼儀、感謝の気持ちを忘れず、積極的に練習に参加する。
- (4) 生徒相互の人間関係  
先輩、後輩の関係、仲間意識を大切にし、チーム力を向上させる。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させる。家庭と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、先輩から後輩へ、または仲間同士の間で暴力等無いよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員の役割や基本的な考え方を両者が話し合い、共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的を実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会 部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング（1学期予定確認） 保護者あて文書配布 東京都高体連関東大会予選 個人戦	施設・設備・道具等安全点検
	5	東京都高体連関東大会予選 団体戦  東京都高体連全日本大会予選 個人戦	新入生の状況把握 （経験・能力・体調面での配慮事項など）
	6	練習試合	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	夏季休業中 練習及び練習試合 強化練習会	夏休み中の活動対策、 注意喚起
	8	城東地区大会 東京都高体連新人大会	
2	9	部活動ミーティング（2学期予定確認） 練習試合  次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検  （施設・設備 造改修要望）
	10	国公立大会 団体戦 中学生部活動体験 東京都高体連新進大会 個人戦	
	11	東京都高体連新進大会 団体戦	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合	
3	1	部活動ミーティング（3学期予定確認） 練習試合	施設・設備・道具等の安全点検
	2	東京都高体連 シングルス大会	
	3	国公立大会 個人戦	

## 1 年間目標

### (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、自分と向き合い分析し積極的に技術向上に努め、部員と協力して困難を乗り越えることのできる生徒。

### (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

関東大会、東日本大会、全国大会等の上部大会出場等を目指して日々の練習に取り組む。

### (3) 特色ある目標

弓道の楽しさを広めるための、文化祭等における弓道体験。

## 2 指導方針

### (1) 部活動の質と量の工夫

練習は原則週に5日間とし、練習時間は約2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。

### (2) 練習や試合等の計画

月に1～2回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。

### (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、小岩校生としてふさわしい服装、時間厳守。

### (4) 生徒相互の人間関係

学年を超えて互いに指導しあい、助け合う中で、協調性や責任感を涵養する。

### (5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

### (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

### (3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

### (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的に実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	外部指導員との打ち合わせ① 生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング①	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	関東大会東京都予選	新入生への指導 (弓道の危険性の周知、危険の回避の方法等)
	6	インターハイ東京都予選	施設・設備・道具等の安全点検②
	7	新チーム結成 部活動ミーティング② 外部指導員との打ち合わせ②	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
2	8	強化練習会参加 練習試合 東京都個人選手権大会	施設・設備・道具等の安全点検③
	9	関東個人選手権大会	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	秋季大会大会 次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検⑤ (施設・設備 造改修要望)
	11	新人大会	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基本錬成講習	
	1	遠的講習会	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	遠的大会	
3	3	三送会 よよぎの杜杯	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都大会出場等を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
合同練習や部活動体験等を積極的に受け入れる。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に4日間とし、練習時間は、平日2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1回程度、競技力を高めるため強豪チームと合同練習を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング①	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	新チーム結成 部活動ミーティング② 東京都高等学校春季水泳競技大会	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	東京都高等学校水泳競技大会 部活動ミーティング③ 夏季合宿健康診断・保護者説明会	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	7	夏季合宿(長野県木島平村 プール 3泊4日) 通常練習、他校と合同練習	熱中症対策・体調管理の徹底
	8	他校と合同練習 6学区大会	施設・設備・道具等の安全点検③
2	9	部活動ミーティング④(日常活動、2学期予定確認) 中学生部活動体験入部 東京都高等学校新人水泳競技大会 部活動ミーティング⑤	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10		施設・設備・道具等の安全点検⑤
	11	次年度予算請求	(施設・設備 造改修要望)
	12	冬季休業中 通常練習、他校と合同練習 強化練習(冬季休業中の3日間)	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	部活動ミーティング⑥(日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	短水路記録会 部活動ミーティング⑦	
	3	春季休業中 通常練習	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

### (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力」「体力」を向上させる方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

### (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

インターハイ予選、関東予選、都ベスト32、公立高校大会ベスト8、6学区大会ベスト4

### (3) 特色ある目標

合同練習や部活動体験等を積極的に受け入れる。

## 2 指導方針

### (1) 部活動の質と量の工夫

練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。

### (2) 練習や試合等の計画

月に1回程度、競技力を高めるため地域の大会参加および他校との練習試合を行う。

### (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。

### (4) 生徒相互の人間関係

チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

### (5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

### (2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力・暴言により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

### (3) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間の連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

## 4 諸注意

・部活での道具は今後後輩が使っていくものであるから、大切に扱うこと。

・諸事情があつて休む場合には必ず顧問に連絡を入れること。無断で休まない。

基本的に校内で顧問に直接連絡すること。どうしても見つからないときは他の部員に伝えるか、その際はラインで連絡すること。

・必要となるもの : 高体連個人登録費 1,000円 筆耕代 700円

道具代(ラケット、ユニフォーム、シューズ、ウィンドブレーカー等)

※基本的に部費は集めない

5 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 関東大会予選	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	インターハイ予選	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6		施設・設備・道具等の安全点検②
	7	地区別大会 (男子) 国公立大会	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	8	6学区大会 (夏期)	施設・設備・道具等の安全点検③
2	9	全日本ジュニア予選	施設・設備・道具等の安全点検④
	10	全国高校選抜予選兼新人戦	
	11		(施設・設備 造改修要望)
	12		
3	1	冬季研修大会	
	2	地区別大会 (女子)	報告・連絡・相談意識涵養④
	3	6学区大会 (春季)	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「将来にわたって音楽を愛好する心情を育てる」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
日々の練習に取り組み、コンテストや大会に出場する。文化祭では発表を行う。
- (3) 特色ある目標  
日ごろの練習の成果を示すとともに、季節に合わせて2か月に1回程度校内でライブを行い、学校を盛り上げる。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は週に2日、月曜と金曜とし、練習時間は2時間を基本とする。個人練習を行うことも推奨しており、火曜・水曜・木曜の内、週に2日自主練習することを可とする。
- (2) 合同練習の計画  
葛西工科高校と合同ライブを年に1回行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
時間厳守、基本的生活習慣の確立、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
部員として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
楽器演奏の基礎練習を重視し、音楽を通して豊かな情操を育てる。体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録	施設・設備・楽器等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握
	5	演奏練習、ライブ①	(経験・能力・体調面での配慮事項など) 施設・設備・楽器等の安全点検②
	6	演奏練習	報告・連絡・相談意識涵養② 熱中症対策・体調管理の徹底
	7	文化祭演奏会準備、演奏練習、ライブ②	施設・設備・楽器等の安全点検③
	8	文化祭演奏会準備、演奏練習 合同ライブ	
2	9	文化祭演奏発表	施設・設備・楽器等の安全点検④
	10	演奏練習	報告・連絡・相談意識涵養③
	11	演奏練習	施設・設備・楽器等の安全点検⑤ (施設・設備 造改修要望)
	12	演奏練習、ライブ③	施設・設備・楽器等の安全点検⑥
3	1	演奏練習	施設・設備・楽器等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	演奏練習	施設・設備・楽器等の安全点検⑧
	3	演奏練習、ライブ④	報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力向上」「将来にわたって音楽を愛好する心情を育てる」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

日々の練習に取り組み、高文連音楽部門地区大会・中央大会に出場し成果を発揮する。文化祭を通して校内の発表を行う。体育祭、野球部応援、アンサンブルコンテスト、合唱祭に参加し学校行事で活躍する。

(3) 特色ある目標

地域交流を積極的に図るため、地域のイベントや近隣の学校で生徒が演奏する。

## 2 指導方針

(1) 部活動の質と量の工夫

練習は、原則週に3から4日間とし、練習時間は、平日1時間半〜から2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。

(2) 合同練習の計画

高文連音楽部門中央大会の演奏発表のため、年に5から6回程度、合同練習を行う。

(3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

時間厳守、基本的な生活習慣の確立、他の生徒の模範となるようにする。

(4) 生徒相互の人間関係

部員として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

(5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

楽器演奏の基礎練習を重視し、音楽を通して豊かな情操を育てる。体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング①	施設・設備・楽器等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	外部指導員との打ち合わせ①	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	体育祭参加、演奏練習 部活動ミーティング② 外部指導員との打ち合わせ②	施設・設備・楽器等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	7	野球部東東京大会試合応援野球部とミーティング 野球部東東京大会野球部応援	熱中症対策・体調管理の徹底
2	8	文化祭演奏会準備、練習 外部指導員との打ち合わせ③	施設・設備・楽器等の安全点検③
	9	部活動ミーティング③ (日常活動、2学期予定確認) 外部指導員との打ち合わせ④ 文化祭演奏発表	施設・設備・楽器等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10		
3	11	補正予算請求・次年度予算請求 高文連音楽部門第5地区大会	施設・設備・楽器等の安全点検⑤  (施設・設備 造改修要望)
	12	冬季休業中 練習及び高文連中央大会合同練習 基礎練習強化 鹿本学園での演奏発表	施設・設備・楽器等の安全点検⑥
	1	高文連音楽部門中央大会演奏 部活動ミーティング④ (日常活動、3学期予定確認)  高吹連アンサンブルコンテスト	施設・設備・楽器等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
3	2	合唱祭での演奏	施設・設備・楽器等の安全点検⑧
	3	部活動ミーティング⑤ (年間の活動の振り返りと次年度への反映)	報告・連絡・相談意識確認



## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
文化祭での調理・販売への意欲を持ち活動する。  
料理コンクールなどへの応募に挑戦する。
- (3) 特色ある目標  
なし

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
活動は原則週に1日間（金曜日）とし、調理時間は1時間半程度、休日4時間を基本とし、互いに協力し合い、短時間に集中して行う。部員数が多い場合は活動日を分ける。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
調理に相応しい身支度整え、挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。衛生面及び安全面に注意をし、清潔で安全な実習環境を整える。
- (3) 生徒相互の人間関係  
班ごと調理していく中で、協調性や責任感を涵養する。  
部長・副部長・会計係は活動方針を部員に提案し、部員の意見を集約するなどしてリーダーシップを取り、部員をまとめていく。
- (4) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
活動中の体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
調理設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的を実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① グループ分け、当番決め、メニュー調べ	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養
	5	食材買い出し、調理、片付け	新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	食材買い出し、調理、片付け 文化祭の企画検討・練習 新部長・副部長・会計係を2年生から決める。	施設・設備・道具等の安全点検②
	7	夏休み、特別活動 食材買い出し、調理、片付け 長い時間をかけて調理できるメニューを検討	熱中症対策・体調管理の徹底
2	8		施設・設備・道具等の安全点検③
	9	文化祭の販売に向けて活動 焼き菓子の制作・販売	施設・設備・道具等の安全点検④ 報告・連絡・相談意識涵養
	10	食材買い出し、調理、片づけ	施設・設備・道具等の安全点検⑤
1	11	食材買い出し、調理、片づけ 次年度予算請求	(施設・設備 造改修要望)
	12	クリスマス 特別活動 食材買い出し、調理、片づけ 行事に関わるメニューを調理する	施設・設備・道具等の安全点検⑥
3	1	食材買い出し、調理、片づけ	施設・設備・道具等の安全点検⑦ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	食材買い出し、調理、片づけ	
	3	次年度新一年生向け部活動紹介の準備	施設・設備・道具等の安全点検⑧ 報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

### (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「人間力向上」を方針とする本校において、豊かな人間性をはぐくむために、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

### (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

本校文化祭、東京都高等学校文化連盟美術工芸部門「中央展」、その他絵画コンクールやイラストレーション公募などへの参加を目指し、日々の制作に取り組む。

### (3) 特色ある目標

大学・専門学校・美術予備校・画材メーカーと連携し、ガイダンスや出張授業を行う。ボランティア等で地域社会への貢献を行い、部員の良い経験となる機会を設ける。

## 2 指導方針

### (1) 部活動の質と量の工夫

活動は原則週4日とし、1日1時間半を基本とする。夏季休業中は生徒の要望に応じて実施する。

### (2) 練習や試合等の計画

東京都高等学校文化連盟美術・工芸部門主催の生徒研修会に参加する。  
都内の美術館見学及びブスクールプログラム等に参加する。

### (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、時間を守る、集中して制作を行い、他の生徒の模範となるようにする。

### (4) 生徒相互の人間関係

共同制作など集団として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

### (5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間、試験前の学習時間の確保を指導する。

## 3 指導内容・方法

### (1) 体罰・暴言等のない指導

体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

### (2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

### (3) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的を実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング 個人制作	施設・設備・道具等の安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養①
	5	個人制作	
	6	個人制作 文化祭ポスター制作 高校生国際美術展（任意）	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	7	個人制作 文化祭共同制作 美術館等施設見学 ボランティア	
	8	個人制作 文化祭共同制作 プロによる出張授業（イラスト・工芸等）	
2	9	文化祭校内展示 個人制作	施設・設備・道具等の安全点検③ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	個人制作	
	11	個人制作 次年度予算請求	施設・設備・道具等の安全点検④ （施設・設備 造改修要望） 報告・連絡・相談意識涵養④
	12	東京都高等学校文化連盟美術工芸部門「中央展」 美術館等施設見学 個人制作 プロによる出張授業・アーティストとの交流	
3	1	個人制作 ボランティア	施設・設備・道具等の安全点検⑤ 報告・連絡・相談意識涵養⑤
	2	個人制作 次年度部活動紹介準備 美術予備校・画材メーカーによる出張授業 個人制作	
	3	美術部卒業式 次年度部活動紹介準備 部活動ミーティング （年間の活動の振り返りと次年度への反映）	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」を方針とする本校において、相手にわかりやすく伝えるという目標を達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
日々の活動を大切に、その成果を文化祭で発表する。
- (3) 特色ある目標  
昼休みの放送をできる限り行う。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
放課後の活動は、金曜日に行い、火曜、木曜の昼休みに放送を行うことを基本とする。
- (2) 練習や試合等の計画  
昼休みの放送を行う中で工夫をしながらより良いものにさせていく。また、金曜日の放課後の活動において放送部としてどんな活動を行っていくかを模索する。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣いをし、他の生徒の言葉を扱う上での模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
時間厳守、基本的生活習慣の確立、他の生徒の模範となるようにする。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
分かりやすい情報の伝え方、相手の立場に立った話し方を身につけることを主とし、行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
書道室の点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 昼の放送計画、実施	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	体育祭放送手伝い	
	7 8	文化祭への参加について、計画	
2	9	文化祭への参加 部活動ミーティング② (日常活動、2学期予定確認) 昼の放送計画、実施	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養③
	1 0	次年度予算請求	
	1 1		
3	1	部活動ミーティング③ (日常活動、3学期予定確認)	施設・設備・道具等の安全点検③ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	部活動ミーティング (年間の活動の振り返りと次年度への反映)	
	3	新入生歓迎会へむけて	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都大会出場等を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
演劇的能力を向上させるため、東京都演劇連盟主催の合同合宿に参加しプロの指導を受ける。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に2日間とし、練習時間は、平日1時間30分～2時間30分とする。  
大会前2週間は週4日に増やし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
年4回の演劇連盟主催の大会と年1回の地区行事に参加し、活動の目標とする。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
舞台づくりを通して、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングや演劇理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	部活動紹介 部活引っぱり会 体験入部 城東地区 朗読劇コンクール（関東一高）	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 （経験・能力・体調面での配慮事項など）
	5	城東地区 新人発表会 部活動ミーティング 連盟総会	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養②
	6	第1回演劇教育研究協議会（都立豊多摩高校）	熱中症対策・体調管理の徹底
	7	短編演劇発表会（都立豊多摩高校）	
	8	夏季合宿健康診断 東京都高演連夏季合宿講習会（都立豊多摩高校） 第2回演劇教育研究協議会（都立豊多摩高校）	
2	9	文化祭公演 東京都高演連演劇コンクール地区大	施設・設備・道具等の安全点検③ 報告・連絡・相談意識涵養③
	10	第一回中央発表会打合わせ（都立芝商業高校） 次年度予算請求 第二回中央発表会打合せ（東京芸術劇場）	（施設・設備 造改修要望）
	11	中央発表会	施設・設備・道具等の安全点検④
	12	第3回演劇教育研究協議会（都立豊多摩高校）	
3	1	城東地区 冬季発表会	報告・連絡・相談意識涵養③
	2	第4回演劇教育研究協議会（都立豊多摩高校）	施設・設備・道具等の安全点検⑤
	3	城東地区 春季発表会 部活動ミーティング（活動の振り返りと次年度への反映）	報告・連絡・相談意識確認

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」を方針とする本校において、書を書くという実践を強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都高校芸術祭等への出展、白鷺祭でのパフォーマンス発表等を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
芸術感覚を身に着ける。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は、原則週に3日とし、練習時間は、火曜、水曜、木曜の放課後2時間程度を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
白鷺祭パフォーマンス、芸術祭や他のコンクールなどへの出展を意識して練習に励む。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係  
芸術作品の創作を通じて、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
芸術感覚を身につけることを主とし、行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。  
書道室の点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

#### 4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	入学式看板作成 生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 外部指導員との打ち合わせ①	施設・設備・道具等安全点検① 報告・連絡・相談意識涵養① 新入生の状況把握 (経験・能力・体調面での配慮事項など)
	6	白鷺祭への参加について、計画	
	7 8	作品練習	
2	9	白鷺祭への参加 部活動ミーティング②(日常活動、2学期予定確認) 外部指導員との打ち合わせ②	施設・設備・道具等の安全点検② 報告・連絡・相談意識涵養③
	1 0	作品練習 次年度予算請求	
	1 1	都芸術祭への参加	
3	1	部活動ミーティング③(日常活動、3学期予定確認) 外部指導員との打ち合わせ③	施設・設備・道具等の安全点検③ 報告・連絡・相談意識涵養③
	2	合唱祭曲目めぐり、看板作成 部活動ミーティング(年間の活動の振り返りと次年度への反映)	
	3	卒業式看板作成 新入生歓迎会へむけて	

## 1 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像  
「人間力向上」「体力向上」を方針とする本校において、自分と向き合い分析し積極的に技術向上に努め、部員と協力して困難を乗り越えることのできる生徒。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標  
都大会進出、関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 特色ある目標  
剣道の理念に基づき、攻防の楽しさを広めるための、中学生との合同稽古。

## 2 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫  
練習は原則週に4日間とし、練習時間は約2時間を基本とし、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画  
月に1～2回程度、練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成  
礼節を重んじる。正しい服装、時間厳守。
- (4) 生徒相互の人間関係  
協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動  
学習と部活動の両立を定着させるため、短時間の指導を徹底する。

## 3 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導  
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドライン等を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止  
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用  
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮  
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。施設設備・使用道具等の安全確認・点検を組織的・定期的実施し、安全管理体制整備に万全を期し、事故の未然防止を徹底する。生徒と顧問教諭間、及び顧問教諭と管理職間の報告・連絡・相談体制を強化し、危機管理意識（環境整備・体調管理等）を高め、安全第一の活動とする。

4 主な年間活動計画

学期	月	内 容	事故防止・安全配慮
1	4	生徒会部活動紹介 部員登録 部活動ミーティング① 関東大会東京都予選	施設・設備・道具等安全点検
	5		新入生への指導
	6	インターハイ東京都予選 段位審査会	施設・設備・防具等の安全点検
	7		熱中症対策・体調管理の徹底
	8	練習試合 武道系部活動合同稽古会参加	施設・設備・防具等の安全点検
2	9	中学生との合同稽古	施設・設備・防具等の安全点検
	10		
	11	秋季大会大会 級位審査会	施設・設備・防具等の安全点検
	12	支部大会 新人大会  冬季休業中 練習及び練習試合	施設・設備・防具等の安全点検
3	1	新人大会	施設・設備・防具等の安全点検
	2	段位審査会 武道系部活動合同稽古会	施設・設備・道具等の安全点検
	3		